

講義に臨む

# 物理学「力学」講義

この講義では教科書を使います

講義の内容を予め勉強しておくこと(ビデオあり)

[lang.sist.chukyo-u.ac.jp/Classes/Physics/](http://lang.sist.chukyo-u.ac.jp/Classes/Physics/)

講義中に確認資料を配布、回収

毎回 宿題あり(提出場所は11号館6階エレベータホール内に設置)

# 教科書

この講義で必須(単位が不要でない限り)

後半の電気・電磁気では別の教科書を使用

生協で購入できる期間が限定されているので注意

買ったからには、使い込む(書き込む)

# 筆記用具

シャープペンシル(鉛筆)複数あるほうがよい

シャープペンシルの場合、予備の芯を忘れないこと

消しゴム

ボールペン(3色以上あると便利 or マーカー)

# ノートを取る

note: 書き留める、心に留める

- ルーズリーフはなくなりやすい --- フォルダが必要  
ノートブックが便利
- 必ず日付、時間を書く  
紙をけちらない  
はっきり書く --- 色を変える、大きさを変える、見やすい工夫をする
- 書きっぱなしはだめ。必ず整理したものを作る  
全部を1枚にまとめたものを作る練習

# Taking a note

- 板書したもののだけが「書き留める対象ではない」  
 大事なことを書き留める  
 そのために「何が大事か」を判断するセンスを育てる
- 「大事なことをまとめる」  
 まとめは自分で作るもの(自分なりのまとめがある)  
 自分で調べたものを追加していく
- 間違いは消さない  
 線を引く(省力化、再利用可能、どのようなミスをしたかの記録)

# 復習

その日のうちに、学んだことを試す

問題を解いてみる、問題を作ってみる

わからないことを明確にする(放っておかない)

質問する      話し合う      LSPやオフィスアワーを利用する

# 相談

わからないことがあれば、LSPに参加してみよう

オフィスアワー を利用しよう

オフィスアワーとは、教員が「質問、相談」のために設けている時間  
教員ごとに場所も時間帯も異なるので確認すること  
この時間を利用することは学生の権利(教員の義務)

# 試験

授業に出ているだけでは不合格が普通

勉強しなければ、留年する可能性が高い

特に電気電子工学科の場合、ある基準を満たさないと不合格

= 「信頼」できる技術者養成のため

技術も知識もない人には仕事を任せることができない

# 時間厳守

しかし 遅れても必ず来る

# 続ける

英語や第2外国語は続ける事が習得の秘訣

2年生で学ぶプログラミング言語も同じ --- 使い続ける

言語は 習熟するには300～1,000時間くらいかかるものと覚悟せよ

失敗するのは仕方がない、しかし

同じ失敗を繰り返さないように、失敗から学ぶ

# 万一不合格の場合は

再試験はやりません(力学も電気・電磁気学も)

その代わりに、秋学期に(金曜2限目)再履修のためのクラスを開きます  
それを履修してください